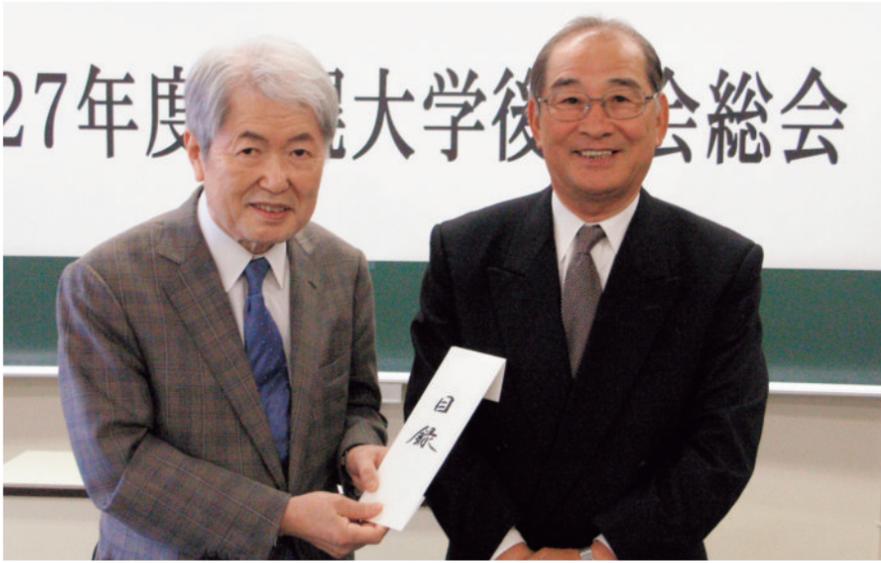


後援会だより

札幌大学と保護者を結ぶホットライン

札幌大学後援会広報誌 Vol.45

発行/札幌大学後援会事務局 発行日/2015年10月30日 〒062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1札幌大学内 TEL(011)852-9749(直) http://blg.sapporo-u.ac.jp/koenkai



猪狩後援会会長より桑原学長へ援助金目録が手渡されました

平成27年度札幌大学後援会総会及び保護者懇談会

保護者の皆様と大学、後援会の相互理解を深める年に一度の機会！
【平成27年度札幌大学後援会総会および保護者懇談会開催報告】

「札幌大学後援会総会」は保護者の皆様に、大学および後援会の活動に対し、「ご理解とご協力を賜るための重要な情報交換の機会」となっています。本年は好天に恵まれた6月6日土曜日の開催となりました。総会に引き続き、大学と共催の保護者懇談会も開かれ、「女子学生の修学状況や進路など、中身の濃い話し合いが行われました。今号はその内容についてお伝えします。」

札幌大学後援会総会

日時/平成27年6月6日(土) 午前11時
会場/札幌大学2204教室

「各種補助事業の承認を得て、すでに今年度の活動をスタートしています」

総会は後援会の活動内容に対し、「ご理解とご承認を賜わる重要な」報告の機会となっています。皆様の関心



総会終了後、後援会から札幌大学に対し援助金の贈呈式を挙行。猪狩会長から桑原真入学長に目録が手渡され、「学生が充実したキャンパスライフを過ごせるように、有意義に活用させていただきます」と感謝の言葉を頂戴いたしました。保護者の皆様のご承認をいただき、後援会は「層力強く、その活動を推進していく所存です。」

「充実のキャンパスライフを願い、援助金を贈呈」



学長よりお礼のご挨拶

も高く、この日も多くの保護者の方にご出席いただきました。議事は平成26年度事業活動報告からスタート。年々充実度を増す活動内容は、満場一致で承認されました。続いて平成26年度の収支報告があり、監査より不明、不正がないことが報告されました。次に平成27年度の事業計画が提示され、学生の課外活動、奨学金への援助、学外研修、資格取得や受験への資金援助、外国人留学生への援助など各種補助事業の承認を得て、後援会は今年度の活動を早くも始動させ、すでに新たな一歩を踏み出しています。

札幌大学保護者懇談会

日時/平成27年6月6日(土) 午後1時
会場/札幌大学プレアホールほか

毎年多くの保護者の方が参加され、活況を呈する「保護者懇談会」が後援会総会の終了後、午後1時より「プレアホール」にて開催されました。懇談会は桑原真入学長および猪狩哲夫後援会会長の挨拶により開幕。最初に大学生生活と就職状況について、それぞれの担当者より詳しい説明があり、特に保護者の皆様の関心が高い就職状況説明会では、「キャリアサポートセンター」の積極的な利用を促すとともに、担当者より保護者の皆様に向け、複雑化・多様化した就職活動に臨む学生に対する「理解と見守り」を重ねておりました。



また、札幌大トピックスのコーナーでは、東日本大震災に対する札幌大学発の持続的募金プロジェクト「リムディー」の活動をレポート。これに関連し、「ボランティアを通して育つ学生」という報告もなされ、地域社会や学外の人と積極的に関わることの意義と重要性が説かれました。その後、オープンキャンパスで高校生を歓迎するスタッフの一員として活躍する学生自らの活動報告があり、イキイキと取り組む学生の様子に、保護者の皆様は優しい眼差しを向けておられました。

全体説明の後、札幌大学が独自に学びの在り方を追究した「地域共創学群」の説明とともに、女子短期大学部のキャリアデザイン学科について説明を行い、地域共創という本学のスローガンについてご理解を求めました。それに続き、「ご希望の保護者の方と個別面談や大学内施設見学会を実施し、現在の修学状況や将来の進路について有意義な話し合いを展開。保護者の皆様の関心の高い懇談会は、その後も道内7カ所、東北1カ所で開催され、大盛況のうちに終了いたしました。後援会では来年度のご参加も心よりお待ちしております。」

参加された保護者の声

- 全体説明の内容について
○大学に入学して数ヶ月が経ち、息子のキャンパスを訪れることができ、とても嬉しく思います。とてもわかりやすい内容で、私自身が学び直したいと思うほど思っていますね。
- 保護者懇談会または本学について
○オープンキャンパススタッフの活動についてということで、現役学生の声を聞いた所は非常に良い体験をしたと思う。また、就職活動については何が大切か、どのようなことをしなければならぬか、教えて欲しいと思います。
○学びの多様性ということで、広く様々な分野を学ぶチャンスを得ることが出来るとの説明を受け、この学校で学ぶことが出来て良かったと思います。
- 個別懇談での説明・対応について
○とても丁寧に教えて頂き参考になりました。

保護者懇談会地方会場報告

北見会場から函館会場まで

学生支援オフィス 主幹 高松 義樹

9月5日(土) 北見会場をかきりに保護者懇談会地方会場は道内と青森の7会場で実施いたしました。札幌から遠く離れた地方在住の保護者の方々には、わが子の日常や、大学内の様子について気になることが多いことと思われれます。この懇談会は本学の教育の取り組みや授業の出席状況、春学期の成績について本学の担当教員がそれぞれの会場に赴き、保護者の方に直接報告・説明をさせていただいています。

昨年度は各会場地域出身の本学卒業生と卒業年次生も参加し、本学での学修状況や課外活動、就職活動を報告しました。各会場では、教職員の説明に加えて、実際に体験した「地元出身」の学生、卒業生の声は多くの保護者の方から好評を得ました。

本年度は卒業年次生だけでなく、これから就職活動を迎える3年生や今年度入学したばかりの1年生が参加しました。3年生は学生自治会や大学祭、1年生は部活動と初めて学ぶ大学での授業についての報告をいたしました。とりわけ、函館会場における入学して半年足らずの1年生の報告は実に新鮮であり、教職員が気づかない素朴な疑問について報告があり、保護者の方々にも「実にわかりやすく、わが子の視線になって説明してくれたようだ」と感心された声がありました。

次年度以降も「保護者の方々への視線」を心がけ学生の様子をわかりやすく、ご報告・ご説明できるよう努めて参りますので、各会場に足を運んでいただくと幸いです。



保護者懇談会 帯広会場の様子

CONTENTS

- 札幌大学後援会総会
- 保護者懇談会
- 保護者アンケート
- 保護者懇談会地方会場報告……1面
- ゼミ紹介-小山ゼミ
- 後援会役員、新任のお知らせ
- 文化系サークル補助金交付式……2面
- 学生FDサミット参加報告
- 就職状況……3面
- 平成26年度事業活動及び
- 平成27年度事業計画……4面



ゼミ紹介

「まちづくり」「人づくり」は「地域創生学」

「地域創生学」を学ぶ小山ゼミナールでは、学生各自が学びを通して、より良いまちづくり、住みやすい環境づくりに取り組んでいます。ボランティア活動に参加することで体験的な学びも重ね、各地の魅力を広く発信できるコミュニケーション能力やマネジメント能力を養っています。

小山茂先生は、「地域の抱える課題に視点を向け、その解決のために何を学び、どのような資格が必要なのか、ともに考えていきます。そのためにアクティブラーニング（思考を活性化させる学修形態）を実行し、社会と関わるなかで、自ら考え、自らの力で壁を乗り越えていける自立した人材の育成を目指しています」と、ゼミの方向性を述べています。

ここで学生が取り組んでいる活動の、具体的な内容についてご報告します。

モエレ沼芸術花火に参加して…



地域共創学群 地域創生専攻3年生
水上 亮 さん

「モエレ沼芸術花火2015」というイベントにボランティアとして参加しました。今年は学生部の副代表として、総勢170人の学生をまとめる大役を務めさせていただきました。私たち学生の役割は主に来場者の整理、誘導、券のモギリといったところ。つまりボランティアの学生170人の後ろに控える1万8千人の観客を意識した会場整理を求められたわけです。ボランティアの募集や配置、誘導計画など、早くから準備して打ち合わせを重ね、何とか無事に終了することができました。このイベントを通じて、社会人の方々や他大学の学生との交流を図るとともに、自分の思いを人に伝えるコミュニケーション能力も養うことができたと思っています。

自己成長を遂げていく機会を与えていただいた小山ゼミには、とても感謝しています。



TVニュースでも取り組みが紹介されました

月寒の地域活性化に貢献!



地域共創学群 地域創生専攻3年生
伊藤 大貴 さん

月寒という街にスポットを当て、「つきさつぶ新聞」の発行や月寒Wikiといった情報アーカイブデータの作成をお手伝いしています。新聞記事の内容は月寒公民館で開かれる交流サロンで話し合っており、最新の話題は今夏開催された「フェスタつきさつぶ」に参加したこと。私もボランティアスタッフとして企画や運営に携わりました。また、今年は札大として屋台を出店。焼き肉とカツパインの販売もしました。スタッフとして関わり、楽しいお祭りの舞台裏には、多くの人の努力や苦労があることを、改めて実感することができました。最初は地域おこしやまちづくりにそれほど関心はありませんでしたが、ここで学ぶようになってから大変興味深く取り組んでいます。将来はこの経験を社会生活に活かしていきたいと思っています。



情報アーカイブデータの作成をお手伝いしている「月寒Wiki」

石狩地区農協とコラボして…



地域共創学群 地域創生専攻3年生
藤岡 圭一郎 さん

私は石狩地区農協青年部（以下、石青協）と札大がコラボして、野菜の消費拡大を図っているというプロジェクトに参加しています。実際に石狩の農家を訪ね、自ら収穫体験を積み、そこで学んだ内容を販売戦略の立案に活かしています。

体験して学んだことや情報は、石青協と小山ゼミが共同で打ち上げたFacebook「石狩ゆめプラン」の中で広く発信しています。今年は販売促進の一環として、月寒のお祭りに石狩産の野菜を景品や屋台の食材として提供しました。来場者の評判は上々で、良い宣伝になりました。こうした経験から学んだのは、結果よりもプロセスが大事だということ。目標に向かって地域が丸となり、皆がどのように考え、協力し、行動したか。その一つひとつの積み重ねが何より大切であることを、学ぶことができました。



石青協と小山ゼミが共同で立ち上げたFacebook「石狩ゆめプラン」

後援会役員、新任のお知らせ

平成27年度、札幌大学後援会の役員に新しく事業担当の運営委員として、ご子女が地域共創学群経営学専攻1年に在籍（サッカー部所属）します1種会員の林明人さんが就任されましたので、お知らせ致します。

札幌大学後援会役員名簿

役職	氏名	担当
会長	猪狩 哲夫	総括・財務
副会長	日浦 和長	事業
〃	北崎 義弘	広報
〃	宮本 みどり	〃
〃	太細 博文	事業
監事	戸井 敏夫	〃
〃	三ツ木 芳夫	〃
運営委員	酒井 春樹	事業
〃	寒河江 正人	〃
〃	上野 洋子	広報
〃	林 明人	事業



事業担当運営委員
林 明人 さん

皆さん、こんにちは。このたび事業担当の委員をすることになりました「林明人」です。

委員は初めてですが、先生方や他の委員の皆さんと協力し、少しでもお役に立ちたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

文化系サークル補助金交付式

日時/平成27年6月23日(火) 午後12時
会場/第一会議室

後援会が行っている支援事業の一つに「課外活動に対する補助事業」があります。札大後援会では体育会系のみならず、それぞれの分野で目覚ましい活動を展開している文化連合会所属のサークルに対しても積極的な支援を行っており、本年も補助申請のあった8団体に向け、補助金交付式を開催いたしました。式は後援会役員の紹介から始まり、続く猪狩会長の挨拶では、「顔」をテーマにお話がありました。「人の顔には感情があらわれ、その積み重ねによって生き様があらわれる。ひたむきに一生懸命にモノゴトに打ち込んでいる人は、充実した良い顔、責任感のある顔になる。学



平成27年度 文化系サークル補助金交付式

生の皆さんも目標を持ち、それに向かって努力することで、素敵な顔をつくってください」との言葉が学生に贈られました。

後援会からの支援に対し、本間副学長より感謝の辞をいただき、各団体の代表一人ひとりに目録が手渡され、会長とガッツリ握手。「有効に使わせていただきます」と決意を述べていました。後援会では来年度以降も、課外活動への支援を継続していく方針であり、各団体からの申請を心よりお待ちしております。

●申請団体
・民俗音楽研究部 ・映画研究会 ・演劇研究会 劇団ダイナマイト・軽音楽部 ・文芸部 ・写真部 ・ジャズ研究会 ・アビードロード音楽研究部

追手門学院大学で行われた 全国の学生が集う 『学生FDサミット』に参加

FDとは… 小山茂教授

学生FD指導者の第一人者である木野茂先生の著書「学生、大学教育を問う―大学が変わる、学生が変わる3」(ナカニシヤ出版、2015年9月20日)によると、(抜粋と一部改編)、「日本のFD(Faculty Development: 大学教員の教育能力を高めるための実践的方法)は1991年から始まり、2008年に全大学で義務化された。」

一方、「学生FD」が広がり始めたのもこの頃からで、学生の視点から授業や教育の改善を求める取り組みの全国交流集会として開催された2009年夏の第1回学生FDサミットを契機に一気に全国に波及することとなった。

札幌大学の学生FD(通称:おこし隊)は、2008年11月に山形大学で開催されたFDネットワーク「つばさ」(学生FD会議)に、故梶浦桂司先生(2012年9月14日急逝)が2名の学生と参加し、岡山大学の学生FDの取り組みの発表を聴講させたことがきっかけとなり、立ち上げられた。梶浦先生は、岡山大学で2005年から毎年開催されていた学生企画型FD活動の取り組みを札幌大学に取り入れたいと構想したことによるものと推測される。札幌大学でどのように学生FDを発足させるかについて模索し、学内へと働きかけられた影響は計り知れない。

以上が北海道で学生FDを最初に導入した経緯である。詳細は、前掲の木野先生の著書で確認されたい。梶浦先生の後任として、学生FDに所属する学生の強い推薦を受けて堀江育也副学長補が(2012年9月〜2015年3月)、2015年4月からは景山副学長が任務を継承している。

加納君が書いた2016年の学生FDサミットが開催されることになれば、梶浦先生の思いが、来年、全国の学生を札幌大学に迎えて行われる。この開催は、学

生FDに関係された全国の先生からも期待されていることであり、事の重要性を如何に学生に伝えてゆくかが、今後の課題である。

また、北海道で学生FDを実施している他大学とも連携を取りながら開催しなければ成功はないと考えている。まさに封は切られ、待たなしに来年の開催に向け船出したばかりのほっとNEWSである。

最後に、来年の2016年の学生FDサミットの開催が成功できれば、学生主体の取り組みとして、札幌大学が全国の大学に認められることとなる価値ある行事であることを重ねて申し上げる次第である。



札幌大学 地域共創学群 人間社会学域 地域創生専攻 小山茂 教授

学生発案型授業など、さまざまな活動を展開 加納正隆さん

大学改革に必要なことは、まず学生の意識を高めることだと思ひ、「おこし隊」に加入しました。「おこし隊」は学生FD活動を展開する有志の集まりで、FDとはFaculty Developmentの略称です。それは、より良い大学づくりに向けた取り組みを指しており、具体的には学生自身がアイデアを出し、自ら行動することによって理想の大学を目指しているというものです。そこで私たちが「おこし隊」が最初に実現したのは、『学生発案型授業』です。これは、どんなこ

追手門学院大学で行われた全国大会に参加、2016年度夏の『学生FDサミット』のホスト校に札大が決定!

とを学びたいか学生からアンケートを取り、最も多くの票を集めた講義を実際に開講するというもの。採用されたのは「異文化交流」をテーマにした講義で、中国やフランス、ロシア、アメリカなど、諸外国と日本の関わりを学ぶという内容でした。札大には各国に精通した講師の方々がおり、学生の人気も高いので、多くの受講生で賑わっています。このほか教職員と学生がお茶を飲みながら気軽に交流する場として、『054(おこし)カフェ』という喫茶スペースを設けたり、より相互理解を深めるために語り合う「札トーク」というイベントも定期的に開催しています。

追手門学院大学で開催された全国大会に参加

毎年、全国の大学が集まり、『学生FDサミット』という大きなイベントが開催されています。私たちも毎年参加しており、本年度は9月2〜3日の両日、兵庫県茨木市の追手門学院大学で開催された大会に、小山先生と私、藤岡君の3人で参加してきました。全国から500名の大学生および教職員が集まり、各大学の取り組みが紹介される事例報告、パネルディスカッション、懇親会などが2日間に渡って行われ、活況を呈していました。私たちが大いに刺激を受け、そこで学んだことを今後の活動に活かしていこうと決意を新たにしています。

その『学生FDサミット』ですが、2016年度夏の大会におけるホスト校が、なんと札幌大学に決定しました。全国から多くの方がいらっしやいますので、札大の総力を挙げて成功させたいと思っています。



地域共創学群 地域創生専攻3年生 札大おこし隊リーダー 加納正隆さん

人脈を広げてくれた札大に感謝しています 藤岡圭郎さん

さまざまなFD活動を展開している私たち「おこし隊」にとって、その集大成と位置づけているのが『学生FDサミット』です。私は昨年度の京都産業大学に続き、今年度は兵庫県の追手門学院大学で開催された大会にも参加してきました。全国の大学生の大学改革にかける熱意は、年々パワーアップしていると感じさせられました。そんな『学生FDサミット』2016年度のホスト校が札幌大学に決定し、リーダーの加納君を全面的にサポートして是非成功させたいと思っています。加えて私には、個人的に練っているプランがあります。それは石狩産野菜の宣伝です。私は今回同行してくださった小山先生のゼミで、石狩の農協青年部とコラボして野菜の販売促進をお手伝いしています。サミットの懇親会では食事しながら全国の学生と交流するという場なので、そこで石狩産の野菜を食材として提供し、全国の皆さんにアピールできたらと考えています。

札大主催の全国大会を良いきっかけづくり

私がこのように意欲的な学生生活を送れるようになったのは、札大に入学し、さまざまな活動に参加するようになってからのことです。きっかけをつくってくれた大学には本当に感謝しています。

2016年の夏に本学で開催される『学生FDサミット』は、札大の総力を挙げて成功させたいイベントだと捉えています。「おこし隊」に入るのではなく、一人でも多くの学生に協力してほしいですね。同イベントはきっと、大学生の意識を向上させてくれる良いきっかけになると思います。



地域共創学群 地域創生専攻3年生 藤岡圭一郎さん

平成26年度卒業生の求人状況・就職状況

就職決定状況

好景気を背に、各月末締めの内定率は4月から翌年2月まで前年同月の数値を上回り、最終内定率は90%に届くように見受けられましたが、2016年卒を対象とする就活解禁時期の変更「採用活動の後ろ倒し」により、3月1日からは3年生向けの合同会社説明会や単独説明会が一斉に開始となり、未内定者向けの採用活動がほとんどなくなりました。その結果、大学の最終内定率は86.0%と昨年度と全く同じ数値でした。

また、初の卒業生を送り出した短大・キャリアデザイン学科の最終内定率は96.4%でした。

業種別就職比率

大学は、サービス業27.5%(昨年28.4%)、小売業18.6%(昨年18.9%)、卸売業13.2%(昨年10.8%)、公務員・教員10.7%(昨年11.3%)で2桁の割合となり、金融・保険業6.3%(昨年5.5%)、運輸・郵便業4.9%(昨年4.1%)、製造業4.7%(昨年6.5%)と続いております。

短大は、サービス業29.7%(昨年23.5%)、金融・保険業22.2%(昨年29.4%)、小売業18.5%(昨年23.5%)、卸売業11.1%(昨年0%)、製造業7.4%(昨年5.9%)と続いております。

求人件数

大学を対象とする求人件数の総数は3,155件(昨年2,926件)、うち道内企業の求人件数も878件(昨年794件)と増加しました。

短大においても、1,598件(昨年1,486件)、うち道内企業の求人件数が497件(昨年455件)となり、就職希望者数から見ると短大生にとっては明るい求人内容となりました。

就職決定状況(大学)

学部学科		卒業生	業種数	就職希望者数	就職決定者数	就職決定率	前年度就職決定率
経済	経済	159	132	110	83.3%	86.6%	
外国語	英語	54	46	39	84.8%	89.6%	
外国語	ロシア語	9	7	5	71.4%	85.7%	
経営	経営	167	115	100	87.0%	87.4%	
法	法	131	106	97	91.5%	89.1%	
文化	文化	165	114	96	84.2%	78.6%	
合計		685	520	447	86.0%	86.0%	

就職決定状況(女子短期大学部)

学科	卒業生	業種数	就職希望者数	就職決定者数	就職決定率	前年度就職決定率
キャリアデザイン	37	28	28	27	96.4%	-
合計	37	28	28	27	96.4%	-

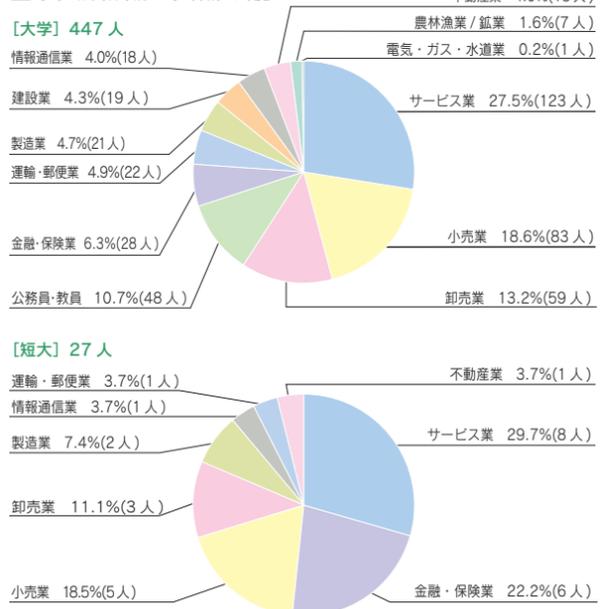
※キャリアデザイン学科は初の卒業生となります

注1) 決定率の算出方法は、就職決定者数を就職希望者数で割ったものである。

平成27年3月卒業生の主な就職先

大 (株)北洋銀行/(株)ゆうちょ銀行/札幌中央信用組合/旭川信用金庫/(株)アクティオ/(株)カナモト/ANA新千歳空港(株)/北海道旅客鉄道(株)/(株)JTB北海道/(株)クワザワ/イオン北海道(株)/(株)ツルハ/(株)サッポロドラッグストア/六花亭製菓(株)/(株)柳月/北海道コカ・コーラボリング(株)/(株)ほくやく/生活協同組合コープさっぽろ/ホクレン農業協同組合連合会/日本郵便(株)、ほか

業種別就職比率(平成26年度)



平成26年度事業活動及び平成27年度事業計画

平成26年度事業活動

(1) 補助事業

①課外活動への補助

単位：円

交付団体名	大会名	支出金額
サッカー部	第38回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント	207,000
	第63回全日本大学サッカー選手権大会	270,000
女子サッカー部	第23回全日本大学女子サッカー選手権大会	90,000
男子バレーボール部	第33回東日本バレーボール大学選手権大会	228,000
	第69回国民体育大会（長崎がんばらば国体）	99,000
	第67回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会	180,000
女子バレーボール部	第33回東日本バレーボール大学選手権大会	171,000
男子バスケットボール部	第66回全日本大学バスケットボール選手権大会	228,000
女子バスケットボール部	第66回全日本大学バスケットボール選手権大会	228,000
卓球部	第81回全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部)	48,000
弓道部	第62回全日本学生弓道選手権大会	150,000
剣道部	第62回全日本学生剣道選手権大会	84,000
	第48回全日本女子学生剣道選手権大会	
	第62回全日本学生剣道優勝大会	120,000
柔道部	第33回全日本女子学生剣道優勝大会	63,000
	第63回全日本学生柔道優勝大会	117,000
	平成26年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会	27,000
	平成26年度全日本学生柔道体重別選手権大会	72,000
	第69回国民体育大会（長崎がんばらば国体）	12,000
準硬式野球部	平成26年度全日本学生柔道体重別団体優勝大会	135,000
	平成26年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会	9,000
	第32回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会	48,000
陸上競技部	第83回日本学生陸上競技対抗選手権大会	240,000
女子羽球部	第65回全日本学生バドミントン選手権大会	36,000
スケート部	第15回大学アイスホッケー交流戦苫小牧大会	255,000
	第8回東日本学生フィギュアスケート選手権大会	9,000
	第40回東日本フィギュアスケート選手権大会	9,000
	第83回全日本フィギュアスケート選手権大会	12,000
	第87回日本学生氷上競技選手権大会	216,000
ソフトテニス部	第87回日本学生氷上競技選手権大会（フィギュア部門）	12,000
	第69回三笠宮賜杯全日本学生ソフトテニス選手権大会	90,000
硬式庭球部	第56回全日本学生ソフトテニスシングルス選手権大会	90,000
ゴルフ部	平成26年度全日本学生テニス選手権大会	18,000
ラグビー部	第68回日本学生ゴルフ選手権競技	24,000
チアリーディング部	第65回全国地区対抗大学ラグビーフットボール大会	270,000
札幌大学キャンパス応援隊	第26回全日本学生チアリーディング選手権大会	90,000
札幌大学吹奏楽団	宮城県石巻市網地島住民の防災意識調査のボランティア	108,000
X-SPORTS部	第62回全日本吹奏楽コンクール	270,000
	第10回全日本学生スノーボードテクニカル選手権大会	18,000
	第27回全日本学生スノーボード選手権大会	9,000
	第33回J S B A全日本スノーボード選手権大会	12,000
2015全日本学生スノーボード大会	9,000	
22団体	小計	4,293,000

交付団体名	文化系サークルの活動内容	支出金額
よさこいソーラン研究会Lafete	YOSAKOIソーラン祭り	50,000
民俗音楽研究部	定期演奏会	50,000
ジャズ研究会	定期演奏会	50,000
写真部	写真展	50,000
料理同好会	フェスタつきさつば	30,000
5団体	小計	230,000

課外活動への補助金合計 4,523,000円

- ②札幌大学奨学金への援助.....10,000,000円
 ③札幌大学学外研修援助金.....4,000,000円
 ④札幌大学資格取得等奨励援助金.....2,000,000円
 ⑤外国人留学生への援助.....5,500,000円
 ⑥札幌大学大学祭への補助金.....50,000円
 ⑦卒業祝賀会への補助金.....50,000円
 ⑧札幌大学保護者懇談会に係る旅費への補助金.....1,474,510円
 ⑨札幌大学地域スポーツ・文化総合型クラブへの補助金.....500,000円

補助費支出合計 28,097,510円

(2) 26年度札幌大学保護者懇談会

開催地	開催日	参加人数
札幌（札幌大学）	6月 7日（土）	169
札幌（札幌大学）	9月21日（日）	134
北見（北見東和ホテル）	9月 6日（土）	17
旭川（ロワジールホテル旭川）	9月 7日（日）	17
釧路（釧路東急イン）	9月13日（土）	23
帯広（帯広東急イン）	9月14日（日）	18
青森（ホテルJALシティ青森）	9月27日（土）	18
函館（函館国際ホテル）	9月28日（日）	17
苫小牧（グランドホテルニュー王子）	10月 4日（土）	7
合計		420

保護者懇談会では就職をはじめ、さまざまなご質問やご相談にもお応えしております。地方の方は参加しやすい上記主要都市での開催に是非ともご参加下さい。



昨年の懇談会の様子（札幌）

(3) 【広報活動について】

「後援会だより」を10月30日（Vol.43）、3月31日（Vol.44）付けの年2回発行

(4) 札幌大学後援会総会

日時：平成26年6月7日(土) 場所：札幌大学 2204教室

(5) 札幌大学後援会役員会

〈第1回〉

日時：平成26年5月27日(火) 場所：札幌大学 第1会議室

〈第2回〉

日時：平成26年6月7日(土) 場所：札幌大学 第1会議室

平成26年度決算書

平成26年度収支計算書（自平成26年4月1日 至平成27年3月31日）

単位：円

科目	予算	決算額	増・減
収入の部			
前年度繰越金	66,790,471	66,790,471	0
第一種委員会費	30,000,000	29,680,000	△ 320,000
第二種委員会費	180,000	225,000	45,000
第三種委員会費	0	0	0
利息	20,000	18,578	△ 1,422
基金取崩収入	0	0	0
合計	96,990,471	96,714,049	△ 276,422
支出の部			
基金充当金	0	0	0
補助費	28,100,000	28,097,510	△ 2,490
消耗品費	70,000	24,175	△ 45,825
旅費交通費	450,000	348,860	△ 101,140
印刷費	1,100,000	885,600	△ 214,400
通信費	1,100,000	803,586	△ 296,414
支払手数料	50,000	9,396	△ 40,604
会議渉外費	1,970,000	1,292,324	△ 677,676
予備費	500,000	0	△ 500,000
小計	33,340,000	31,461,451	△ 1,878,549
当年度収支差額（次年度繰越金）	63,650,471	65,252,598	
合計	96,990,471	96,714,049	△ 276,422

平成26年度資産（現預金）・基金内訳表（平成27年3月31日現在）

単位：円

勘定科目	前年度繰越金	3月末	増 減
《資産の部》			
現金（事務室保管）	5,567	14,261	8,694
普通預金（北海道銀行西岡）	50,893,857	49,231,327	△ 1,662,530
普通預金（北洋銀行豊平）	15,891,047	16,007,010	115,963
基金（北海道銀行西岡）	26,000,000	26,000,000	0
基金（北洋銀行澄川）	20,000,000	20,000,000	0
資産合計	112,790,471	111,252,598	△ 1,537,873
《基金の部》			
基金（北海道銀行西岡）	26,000,000	26,000,000	0
基金（北洋銀行澄川）	20,000,000	20,000,000	0
収支差額（次年度繰越金）	66,790,471	65,252,598	△ 1,537,873
基金合計	112,790,471	111,252,598	△ 1,537,873

平成27年度事業計画

札幌大学後援会では、在学生を支援の主たる対象とし、各種支援事業を平成27年度も継続してまいります。主な事業計画は次のとおりです。

- ①後援会総会の開催（後援会活動活性化の観点から保護者懇談会【6月の札幌大学での開催】との同日開催）、②札幌大学との共催による保護者懇談会の開催（会議費、旅費交通費等の運営経費を補助）、③学生への経済的支援（1）課外活動への援助金（全国大会及びこれに準ずる大会等へ参加する部員への遠征費補助、文化系サークルの活動費を補助）、（2）学外研修への援助金（国内外の宿泊研修、臨地研修等への参加者への資金）、（3）資格取得・受験対策への援助金（能力開発センター開講講座の資格取得者への援助金、正課授業に係る資格の受験者への援助金）、（4）外国人留学生への援助金（私費外国人留学生奨学金制度における資金補助）、（5）札幌大学奨学金制度への援助金（成績優秀者に対する奨学金資金の援助、また23年度からは経済的困窮度を重視した生活支援奨学金の援助）、（6）地域貢献活動への援助金（めえーずの活動資金を補助）、（7）広報活動（『後援会だより』の発行）

平成27年度収支予算

収入の部 単位：円

科目	平成26年度決算	平成27年度予算額	増減額(決算額比)	摘要
前年度繰越金	66,790,471	65,252,598	△ 1,537,873	
第1種委員会費	29,680,000	29,000,000	△ 680,000	10,000円×2,900人=29,000,000
第2種委員会費	225,000	180,000	△ 45,000	3,000円×60口
第3種委員会費	0	0	0	
受取利息	18,578	20,000	1,422	
基金取崩収入	0			
合計	96,714,049	94,452,598	△ 2,261,451	

支出の部

単位：円

科目	平成26年度決算	平成27年度予算額	増減額(決算額比)	摘要
補助費	28,097,510	27,600,000	△ 497,510	札幌大学奨学金援助金 課外活動補助金・卒業祝賀会・大学祭 外国人留学生奨学金援助金 学外研修援助金・資格取得等奨励援助金 表彰 保護者懇談会（大学分旅費） 地域貢献費（札幌大学地域スポーツ）
消耗品費	24,175	70,000	45,825	事務用消耗品 コピー用紙
旅費交通費	348,860	450,000	101,140	役員会、保護者懇談会（地方）
印刷費	885,600	1,100,000	214,400	封筒作成 各種案内状 会報作成(後援会だより) 印字 その他印刷
通信費	803,586	1,100,000	296,414	後援会だより発送作業・発送費2回分、会費納入案内 役員会、総会案内・保護者懇談会等の案内他 会費納入振込手数料・業者への振込手数料
支払手数料	9,396	50,000	40,604	役員会会議費、総会・札幌会場保護者懇談会参加者昼食費、地方会場費 祝儀等
会議渉外費	1,292,324	1,970,000	677,676	
予備費	0	200,000	200,000	
小計	31,461,451	32,540,000	1,078,549	
次年度繰越金	65,252,598	61,912,598		
合計	96,714,049	94,452,598		

編集後記

経済産業省が平成18年から提唱しています社会人基礎力は、前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力の3つの能力（12の能力要素）から構成されており、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力を指します。本学においても、同時期に、この社会人基礎力の涵養を目的に正課授業として「キャリア科目」を開設し、今日に至ります。平成25年度には、大学及び女子短期大学部において「地域共創」をスローガンに改組転換を図り、その後も継続して地域連携活動による人材育成の実現を目指しています。

今回の号では、小山茂教授のゼミ紹介において、まさにこの教育理念の具現化に向けた取り組みを行い、地域への社会貢献、また自らのコミュニケーション能力の向上や様々なイベントの企画、運営の仕方学ぶことを目標とする地域密着型の活動を紹介しています。

若者を取り巻く環境は、今後さらに不透明さを増すことが想定されるなか、社会人基礎力を意識した自分磨きが今まで以上に重要となると思われます。教育方針を反映する本学生の多種多様な取り組みは、本学ホームページの「最新情報」で発信されていますが、今後も本学教育理念の展開、後援会が支援するご子女の成果に注目していただけたら幸いです。